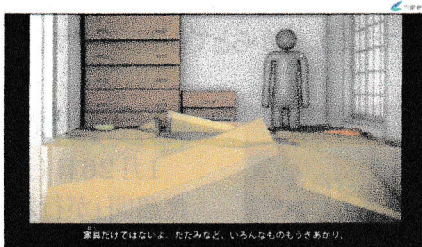


浸水に対する避難について

学校では昔から、地震や火災、不審者の侵入など、様々な危機を想定した訓練を実施しています。その中で、数年前から実施するようになった「浸水を想定した垂直避難」は、我々大人も、訓練をした経験は少ないと思います。

「垂直避難」とは、水害や土砂災害などの災害発生時に、今いる建物やすぐ目の前にある建物の2階以上のなるべく高層階へ移動する避難方法のことです。以前は、水害の危険があるときには、原則として避難所への避難が推奨されていましたが、現在は鉄筋コンクリート製の高層建築が増えたこともあり、状況によっては建物の2階以上に避難して救助を待つ「垂直避難」も避難の選択肢となっています。

舞鶴小では、昨年度は「体育館で授業をしているときに災害が発生したことを想定し、2階以上にある各教室に戻る」という形で訓練を実施しました。今年度は、内閣府が出している「(水害編)警戒レベルに関する映像資料(子供版)」を視聴し、水害の恐ろしさや正しい避難の仕方などについて学びました。これからも、危機を予想・回避できる力の育成に取り組みます。



地域連携あいさつ運動

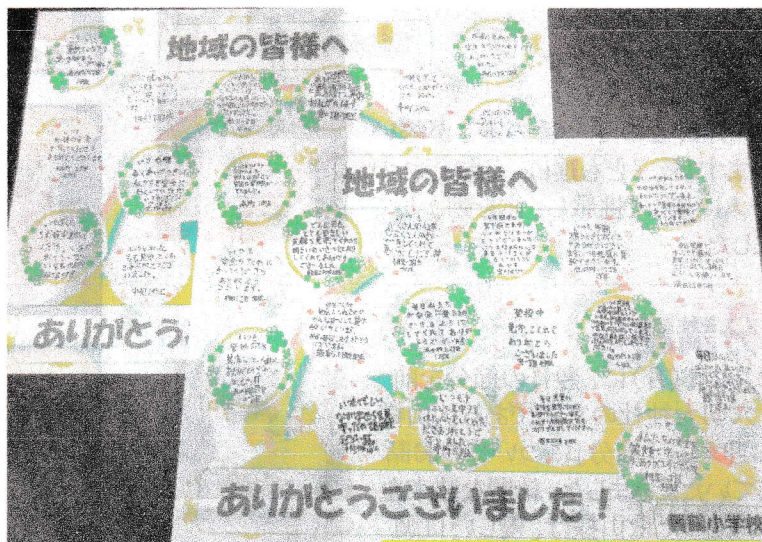
2月12日(木)と13日(金)、今年度3回目となる地域連携あいさつ運動を実施しました。

今回も、保護者、学校運営協議会、見守り隊、民生委員、青少年育成推進協議会、保護司会など、たくさんの皆様が児童玄関に立ち子ども達の登校を見守ってくださいました。

第3回目となった今回は、あいさつ運動が終了したところで、各登校班長たちからの感謝の気持ちを寄せ書きにしたメッセージをお渡ししました。

地域の皆様には、普段から様々な形で子ども達への声かけや見守りをいただいています。警察の方々も、子ども達の登下校の時間にあわせて巡回してくださっています。たくさんの皆様の子どもの安全・安心へのご協力に、感謝申し上げます。

これからもよろしくお願いいたします。



6年生が作成した、地域・警察の方々へのメッセージ

